

BIBAI DESTINATION GUIDE

JAPANESE EDITION 日本語版



FREE

ご自由にお持ちください



美唄市は北海道の空知地方に位置する山に囲まれたまち。

豊かな自然や歴史とアート、そして、美味しい魅力に溢れている。

北の大地「北海道」を訪れたのなら、是非立ち寄ってほしい。

さあ、美唄へ旅に出よう。



北海道 美唄市

かつて炭鉱で栄え、炭都として全国に知れた美唄市は、北海道空知地方のほぼ中央に位置する人口約2万人の小さなまち。

自然と田畑が多く、林野と耕地面積が市の77%を占め、冬は道内でも屈指の豪雪地帯となっている。

産業は米を中心とした農業が盛んで、アスパラガスやハスカップなども有名。



BIBAI DESTINATION GUIDE

JAPANESE EDITION 日本語版



⁶ 知 [炭鉱メモリアル森林公園] [美唄鉄道旧東明駅舎] [美唄市郷土史料館] [旧桜井家住宅]

¹² 観 [安田侃彫刻美術館 アルテピアッツァ美唄] [東明公園] [ラムサール条約登録湿地 宮島沼]

²⁰ 催 [びばいさくら] [びばい歌舞裸まつり] [BIBAI NOASOBI CAMP] [びばい雪んこまつり]

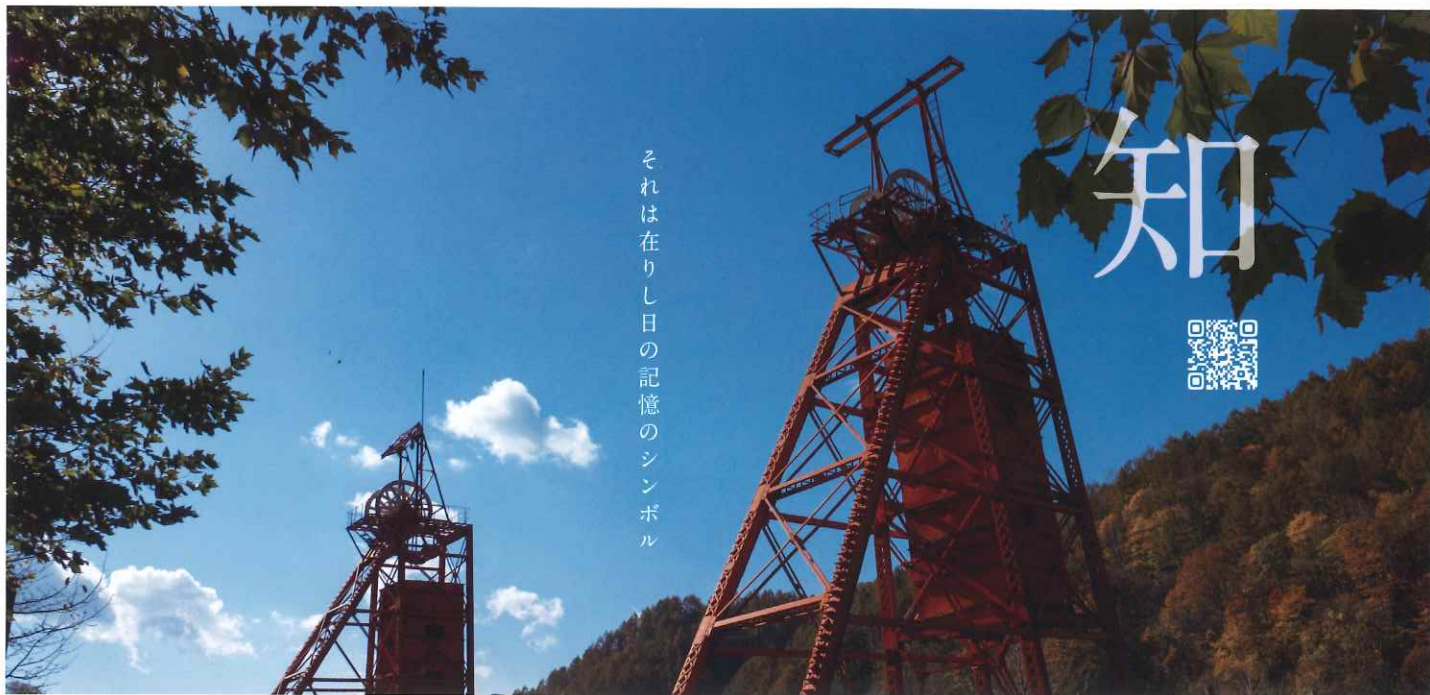
²⁴ 感 [こころを彫る授業] [陶芸体験] [農業体験]

²⁶ 遊 [キャンプ] [パークゴルフ] [サイクリング] [スキー/スノーボード]
[ボルダリング/クライミング] [スカイダイビング] [スノーランド] [ゴルフ]

²⁸ 召

An aerial photograph of a town, likely in Japan, showing a wide, straight road running vertically through the center. The road is flanked by fields and some buildings. The town is densely packed with buildings and trees, and the surrounding area is mostly agricultural fields. The road is a major thoroughfare, and the town is centered around it.

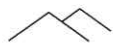
街の中心を一筋に走る国道12号線は、南北に29.2kmの直線が続く日本一の直線道路。人々が行き交う主要道路として明治に開通以来、今なお生活の中心となっている。



知



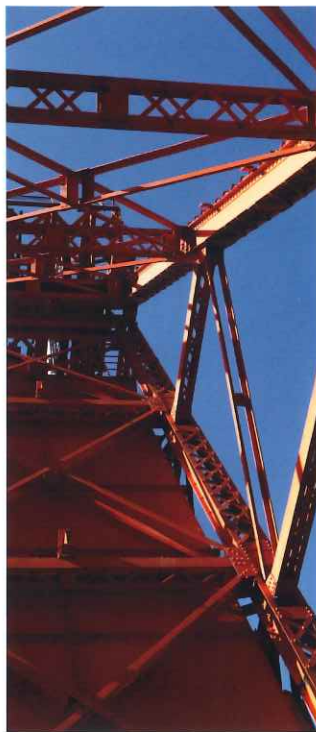
それは在りし日の記憶のシンボル



炭鉱メモリアル森林公園（旧三菱美唄炭鉱施設）

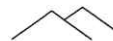


空知には炭鉱で栄えた町が数多くある。炭鉱メモリアル森林公園は旧三菱美唄炭鉱施設跡地の遺産を活用した公園。現在は、豎坑櫓、電源を管理していた開閉所、原炭ポケットなどが残っている。発展を続け、一時代を築いた人々の記憶が垣間見える。





美明駅から我路駅、常盤台を結んだ三菱美明鉄道。その歴史を思い起こせる駅舎と機関車。駅舎の中には廃線当時の時刻表や券売機、今も森の片隅に静かに佇んでいる。



美明鉄道旧東明駅舎
4110 形式十輪連結タンク機関車 2 号



11

美唄市郷土史料館

開拓から農業の発展、炭都として輝き、移り変わっていった人々の生活・文化・経済。時代の様を目で感じることができる史料館で、過去に限らず現在と未来も照らしてくれる。





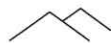
喧騒の国道沿いにひっそりと佇む木造の建物。住宅の中は長い一枚板の縁側、障子やふすまで仕切られた部屋のところどころに小さな発見が眠っている。明治、大正、昭和初期と美唄を見守り続けている。





大自然と彫刻が相響する場所

観



安田侃彫刻美術館 アルテピアッツァ美唄



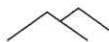
アルテビアツツア美唄がもたらす空間で、
芸術を眺めたり、芝生に寝転んだり、裸
足で水をかけあう子どもたちと、訪れた
人それぞれが思い思いに楽しんでいる。
朽ちゆくはずだったこの地に今があるの
は、多くの出会いがあったから。無心に、
自由に時間を過ごせるこの場所はかけが
えのない空間となっている。





アルテピアッツァ美唄に出かけたのなら是非とも注目してほしいのが閉校した小学校を再生させたギャラリー。安田侃氏の作品を探しながら歩いていると、どこか懐かしい気分がよみがえってくる。西日が差し込む廊下の温もりが、きっと自分を幼少の頃に戻してくれるのだろう。

東明公園



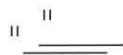
日本最北のソメイヨシノ群生地である東明公園には、エゾヤマザクラ・チシマザクラ・ヤエザクラなど春の訪れを多彩に楽しませてくれる。また、桜が終わるとツツジが園内に溢れ、秋になると燃えるような紅葉が楽しめる。



七十二候の兆しを
届けてくれる



遙か時を越えて自然の壮大さを知る。



ラムサール条約登録湿地 宮島沼



大空を埋め尽くす渡り鳥。春と秋、宮島沼の朝は約8万5千羽の渡り鳥で覆われます。美咲市宮島沼は、マガンの国内最北・最大の中継地となっている。世界的に貴重な環境であることから、平成14年11月18日に国内13番目のラムサール条約登録湿地となった。





ねぐらから飛び立った野鳥たちは、日が暮れるまでどこで過ごしているのか、次の目的地へ飛び立つ為に、周辺の田畑で落ち穂などをついばんでいるのだ。人の生活範囲に溶け込みながら力を蓄え、時には川や池などで休憩している。そんな景色もこの時期ならではの見どころである。ただ、野鳥を脅かしたり、畑に無断で侵入するなど気を付けてもらいたいことがあるのは事実。野鳥たちが過ごしている姿を見つけたら是非そっと見守ってほしい。



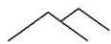
表紙に採用したのは美唄市立公民館桜井邸分館（旧桜井家住宅）の庭園から撮った縁側のガラス戸。

凛とした佇まいに、木洩れ日がゆらゆらと輝いています。思わずシャッターを切ったときに、ガラスに映るぼやけた景色に、知ることのない当時の情景が浮かびました。

本誌では、様々な美唄のスポットを窓や扉のようにレイアウトしています。

窓からのぞいてみるように、靴を履き外へ出かける扉のように本誌を使っていたら幸いです。

びばいさくら

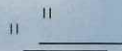


桜の名所である「東明公園」をより楽しんでもらえるよう開催している企画。主役である桜に囲まれたなかで、春の美味しい食を楽しんだり、夜桜のライトアップや花火の打ち上げなどで毎年多くの人々を魅了している。

催



びばい歌舞裸まつり



短い夏を彩る祭り。老若男女
問わず多くの市民が集い、鋭
い日差しのもと美唄のグルメ
が並び、陽気な音楽と威勢の
良い声が飛び交い、笑い声が
会場を包んでいる。





BIBAI NOASOBI CAMP

「野遊び＝NOASOBI」こそ人間本来の姿であり、遊びの原点で生き方の本質だろう。「BIBAI NOASOBI CAMP」は有名な山や川が無くても、今そこにあるモノを楽しむ人がいる。新たな発見や驚き、そして遊び心を培ってくれる体験型イベント。

びばい雪んこまつり 〃

「美唄の冬を感じる」「冬を楽しむ」「こども達の郷土愛を育む」を目的に長年開催されている。子どもたちの笑顔で溢れるイベントとして、大すべり台や子どもたちが制作したキャンドルのライトアップなど、親子で楽しめる内容となっている。





こころを彫る授業

自分を知る。感じる。そして向き合う。そんな機会に出会えるのがこころを彫る授業。石と向き合うことで目に見えない自身のこころが少しずつ“かたち”になっていく。ここにしかないとおきの授業。

感





農業体験 ¹¹ _____

あの頃のように日差しのもとで土に触れ、風を感じる。美唄の主要産業である農業から、実った食材を自ら収穫して美味しくいただく。まさに”いただきます”を体験する。

[主要体験]
ハスカップ狩り



陶芸体験

日本の伝統工芸を体験できる体験交流館では、手びねりや絵付けなどを手軽に楽しめる施設となっている。また、熱効率に定評のある登り窯の迫力や独自の仕上がりは見学も含め体験してほしい。



スキー／スノーボード

深すぎるパウダースノーをまるで独り占めしているかのような感覚を味わえるスキー場は、まさに知る人ぞ知るスポット。



遊



キャンプ

日々の騒音から解放される。大自然すぎるプライベート空間で、野生の息づかいと隣り合わせ。ありのままの自然を思う存分遊び尽くす。



サイクリング

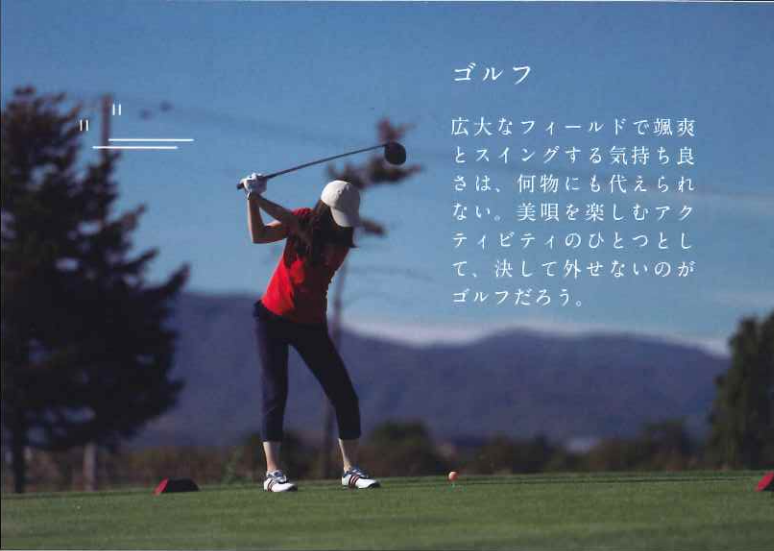
山間や田園の自然を感じながら颯爽と走りゆく気持ち良さは、きっと誰もが感じる感覚。もちろん移動手段として市内を巡り美唄のとおきおきを堪能するのも良いだろう。



パークゴルフ

山の高低差を利用したダイナミックなコースで思い切り打ち込める。年齢や性別に関係なく、誰もが手軽に楽しめるパークゴルフを是非楽しんでほしい。





ゴルフ

広大なフィールドで颯爽とスイングする気持ち良さは、何物にも代えられない。美唄を楽しむアクティビティのひとつとして、決して外せないのがゴルフだろう。



ボルダリング／クライミング

体と頭と感覚。自分の持てる全てを使い、高壁に挑む魅力がボルダリングやリードクライミングにはある。廃校の体育館を使用した当施設には、自らを奮い立たせるホール드가並んでいる。



スノーランド

ウィンタースポーツやアクティビティを手軽に楽しめるのがスノーランド。ゴルフ場のフィールドを利用して様々な体験が楽しめる。



スカイダイビング

空を飛ぶ。そんな経験が農道離着陸場で行える。スカイスポーツの代表格であるスカイダイビングで、美唄の全景を楽しんでほしい。

誇れる美味しさ

北海道内屈指の米どころである美唄。黄金色に実った稲穂が美味しい秋の訪れを教えてくれる。様々な品種と独自の貯蔵方法などにより、多様な味わいを楽しむことが出来る。また、米粉から作られた銘菓やパン、市内特定の地域のみで生産されたお米で醸造した純米大吟醸など、多くの商品が誕生している。





様々な恵み

実りはお米だけではなく、独自の土壌で育った絶品のアスパラガスや不老長寿の果実と称されるハスカップなどが生産されている。また、北海道内で唯一栽培されているカシグルミや多くの野菜とそれらの加工品など、数えきれないほどの恵みがある。





歴史が生み、受け継がれる

開墾から各家庭の味が受け継がれてきた郷土料理のとりめしや一羽を無駄なくいただけるよう生まれた美唄焼き鳥。かつての炭鉱マンが真っ黒になった身なりでもそのまま食べることができた料理など、美唄の唯一無二である歴史が生んだ美味しい魅力。



人を魅了する食は尽きない

こだわりの素材。こだわりの製法。こだわりの店主。新たなものが生まれ続け人々の味覚を刺激し続ける美唄の食に限界はない。





JRでのアクセス

JR 札幌駅から約 35 分（特急電車）

JR 新千歳空港駅から約 72 分（快速・特急電車）

自動車でのアクセス

札幌から約 60 分（道央自動車道経由）約 53km

札幌から約 90 分（国道 12 号線経由）約 60km

新千歳空港から約 80 分（道央自動車道経由）約 99km

新千歳空港から約 90 分（国道経由、三笠・栗山線経由）約 80km

市内での移動（タクシー）

ビジュータクシー／TEL 0126-63-2131

昭和ハイヤー／TEL 0126-62-2424

美唄交通／TEL 0126-62-2000

宿泊施設

ビバの湯 ゆ〜りん館／TEL 0126-64-3800

HOTEL BIJIKO／TEL 0126-66-7100

だるま屋旅館／TEL 0126-63-2245

的場旅館／TEL 0126-62-3535

stay 桜・Cozy Penguin House／TEL 0125-74-8155



BIBAI DESTINATION GUIDE
website

発行 美唄市経済部経済観光課 〒072-8660 北海道美唄市西 3 条南 1 丁目 1 番 1 号 TEL 0126-63-0112 E-mail: kouryu@city.bibai.lg.jp

地域プロモーションアワード 2021 ふるさとパンフレット大賞 南仲坊賞受賞

2022 年 11 月制作